

Backup Exec 25.1 リリース情報

2025年10月

Arctera Operations Limited
Japan Branch

Agenda

- Backup Exec 25.1のリリース概要
- Entra IDの保護
- M365の保護：CAS/MBES環境への対応
- M365のバックアップに関する性能改善
- Backup Exec Recommendation Tool

Agenda

- **Backup Exec 25.1のリリース概要**
- Entra IDの保護
- M365の保護：CAS/MBES環境への対応
- M365のバックアップに関する性能改善
- Backup Exec Recommendation Tool

Backup Exec 25.1 リリース内容

新機能

- **Entra IDの保護**
 - ユーザ、グループ、アプリの登録、エンタープライズアプリケーションといったEntra IDのオブジェクトの保護
 - 追加の製品型番 (SKU)は無く、BE SimpleライセンスとBackup Exec 25.1があれば保護が可能
 - Entra IDのみを指定して保護した場合、インスタンスは消費されない (容量ライセンスの場合は、容量は消費される)
- **M365のバックアップとリストアジョブをCAS/MBES環境に対応**
 - スタンドアロン環境のBEサーバでしか実行できなかったM365のジョブの実行を、CAS/MBES環境にも対応
- **M365のバックアップに関する性能改善**
 - M365のバックアップに使用されるカタログ用データベースを、一定値に達したときに自動分割し、負荷分散・並列処理を実現
 - SharePoint OnlineやOne Driveの永久増分バックアップ、完全統合のパフォーマンスを改善
- **Backup Exec Recommendation Tool**
 - M365のパフォーマンス・ストレージのサイジングに役立つツール (BE25.1に特化したツールではない)

OS/ストレージ/リージョン対応

- **SharePoint Server Subscription Edition (オンプレ版のサブスクリプション)のサポート**
- **クラウドストレージ**
 - OVHcloud S3 object lock対応
- **クラウドリージョン**
 - Amazon: メキシコ(Central)
 - Amazon: アジア太平洋(タイ)
 - Amazon: アジア太平洋(マレーシア)
 - Google: スtockホルム (Europe-noth2)
 - Google: メキシコ(northamerica-south1)

今回のリリースについて (2025年10月6日)

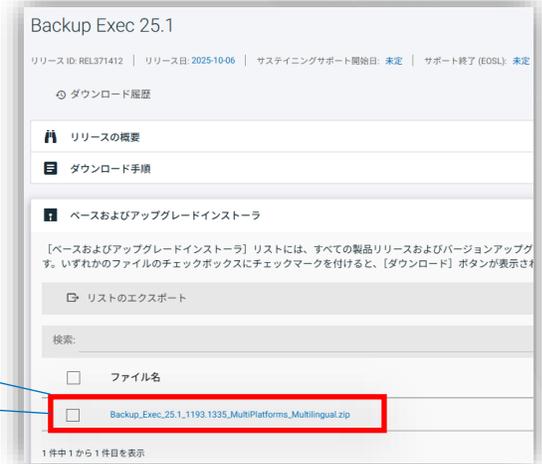


- インストールメディアはサポートサイトの「ダウンロード」から入手 (保守契約が必要)

<Arctera/旧ベリタス サポートサイト>

https://www.veritas.com/support/ja_JP/downloads/detail.REL371412

Backup_Exec_25.1_1193.1335_MultiPlatforms_Multilingual.zip



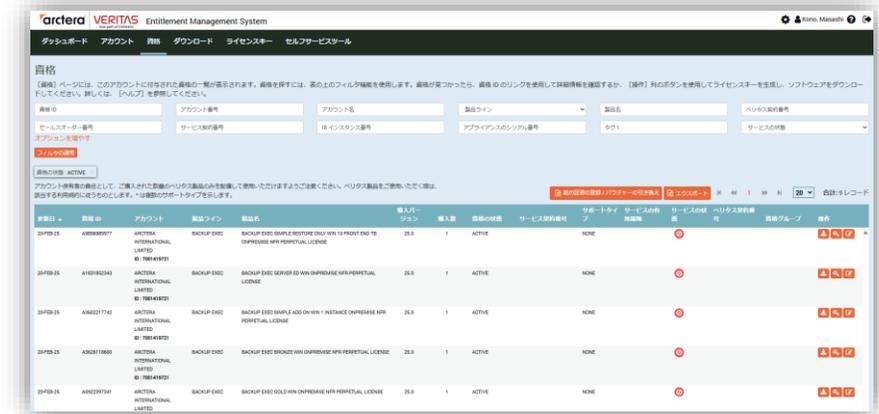
- Backup Exec 25用のライセンスキーファイル (.slf)が必要 (保守契約が必要)

<https://vems.community.veritas.com/vems/entitlements>

※ Backup Exec 24.x用のライセンスキーファイルはBackup Exec 25では使えない

- ArcteraのEntitlement Management System (旧ベリタスのライセンスポータル) から新たなライセンスキーファイルを発行する

※旧ベリタスのライセンスポータルで使用していたログインIDとパスワードがそのまま使える



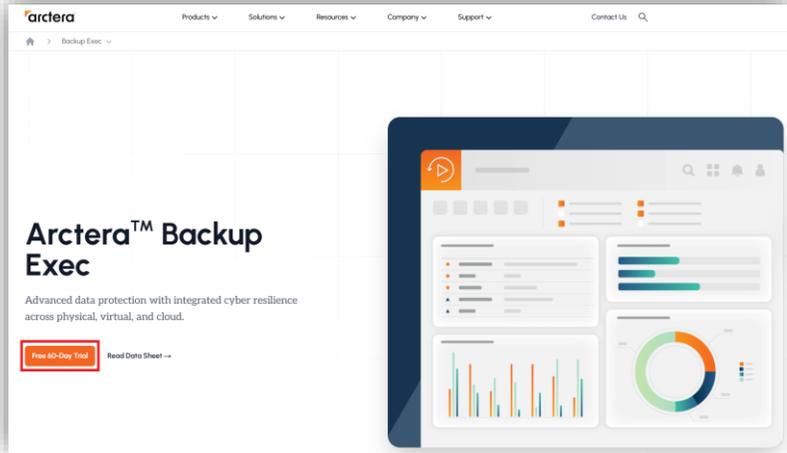
Backup Exec無料体験版

Backup Execのすべての機能を60日間無料で試せます！M365のバックアップも！



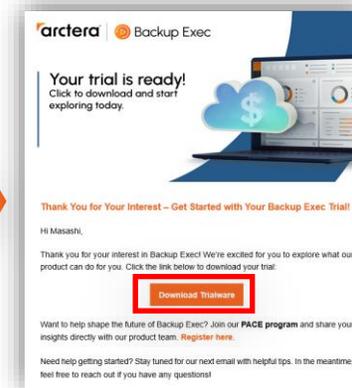
- ① 以下のサイトから
「Free 60 Day Trial」をクリック

<https://www.arctera.io/backup-exec>

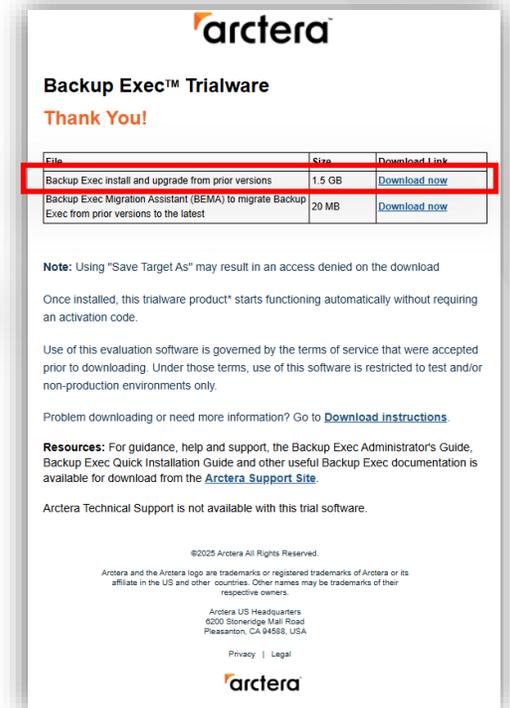


- ② 簡単な登録手続きを行う

- ③登録メールアドレス宛に
ご案内メールが届く。
「Download Trialware」
をクリック



- ④ 「Download now」から
最新の評価版をダウンロード



※ここから入手する評価版は、製品の保守契約は不要

Backup Exec, System Recoveryお問い合わせ先一覧

2025年10月9日時点

	ご購入前(新規および更新発注前)のお問合せ		ご購入後のお問合せ
対象	お客様（エンドユーザ様向け）	一次代理店もしくは販売店様	すべて
名称	セールスインフォメーションセンター（SIC）	パートナーコールセンター（PCC）	サポートソリューション
 お電話	03-6705-8903 <small>* 自動応答の音声メッセージに従い操作いただくと、それぞれの窓口につながります。</small>		フリーダイヤル：0120-07-8978 フリーダイヤル不可の場合：03-4477-4957
 ウェブサイト	Webからのお問合せ https://inform.arctera.io/contactus		サポートポータルURL https://www.veritas.com/support/ja_JP.html
 メール	問い合わせ arctera-sic@arctera.ebizservice.jp	問い合わせ arctera-partner@arctera.ebizservice.jp	問い合わせ先メールアドレス（カスタマケア） customersupport@arctera.io *非技術的なお問い合わせに限られます <small>（例： 保有ライセンスに関する確認、ベリタスライセンスポータル（VEMS）の利用方法など）</small>
 受付時間	10:00 - 12:00、13:00 - 17:00 <small>*弊社営業日のみ。土日祝日、年末年始除く。</small>		9:00 - 18:00 <small>*弊社営業日のみ。土日祝日、年末年始除く</small> <small>*上記時間外は、エッセンシャル契約のみ（英語対応）</small>
 ご対応内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入前の営業窓口 ■ 保有ライセンスのご案内 ■ 更新見積（定価） ■ 評価版対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入前の営業窓口 ■ 保有ライセンスのご案内 ■ 更新見積（定価） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テクニカルサポート受付窓口 ■ 購入後のライセンスキー取得 ■ サポートポータルの対応 ■ ライセンス譲渡・移管申請書に関するお問い合わせ ■ 証書再発行 ■ 保有ライセンスのご案内

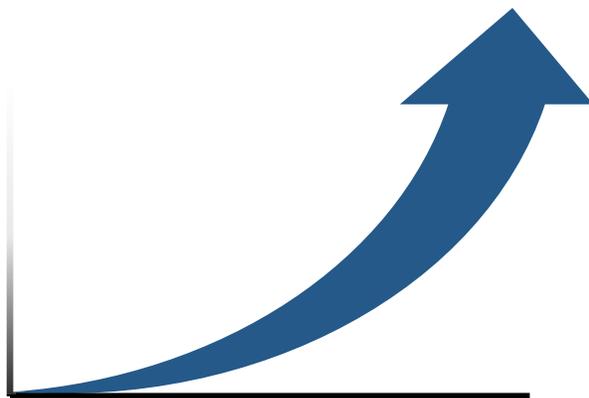
Agenda

- Backup Exec 25.1のリリース概要
- **Entra IDの保護**
- M365の保護：CAS/MBES環境への対応
- M365のバックアップに関する性能改善
- Backup Exec Recommendation Tool

資格情報への攻撃が増えてきている

Entra IDの保護は最初の防衛線

- 2025年では、資格情報の盗難が**160%**急増し、データ侵害の最も多い原因となっている
- 現在、情報漏洩の**20%以上**が直接的に不正アクセスされたログイン情報に起因している*
- パスワードベースの攻撃は、マイクロソフト社が毎日ブロックする6億件のID攻撃の99%を占める
- これはおよそ毎秒7,000回の攻撃に相当する**



*<https://petri.com/leaked-credentials-top-cause-data-breaches>

**<https://www.microsoft.com/en-us/security/security-insider/threat-landscape/microsoft-digital-defense-report-2024>

資格情報攻撃の重大なリスク

Entra IDの保護は最初の防衛線



Microsoft
Entra ID

暗号化

ランサムウェア、マルウェア

- 正当なユーザが全データ・サービスにアクセス不能に
- 認証不能で業務停止に
- 復旧困難な状況をランサムウェアが悪用

削除

マルウェア, 内部による攻撃、エラー

- ユーザがログインできないまたは重要なシステムにアクセスできない
- グループとアプリケーションの削除は、組織全体のワークフローを中断させる
- ダウンタイムはITを超えて、業務運営まで及ぶ

破損

システム障害、エラー、マルウェア

- 生産性を妨げるランダムなロックアウト
- ユーザ、グループ、アプリ間の壊れた関係が連鎖的な障害を起こす
- ITシステムに対するユーザの信頼が損なわれる

Backup Execはアイデンティティの復元を可能にする

Entra IDの保護は最初の防衛線



Microsoft
Entra ID

何が保護されるか

- ユーザとグループ
- アプリケーションとエンタープライズアプリ
- お互いの関係性

なぜ重要か

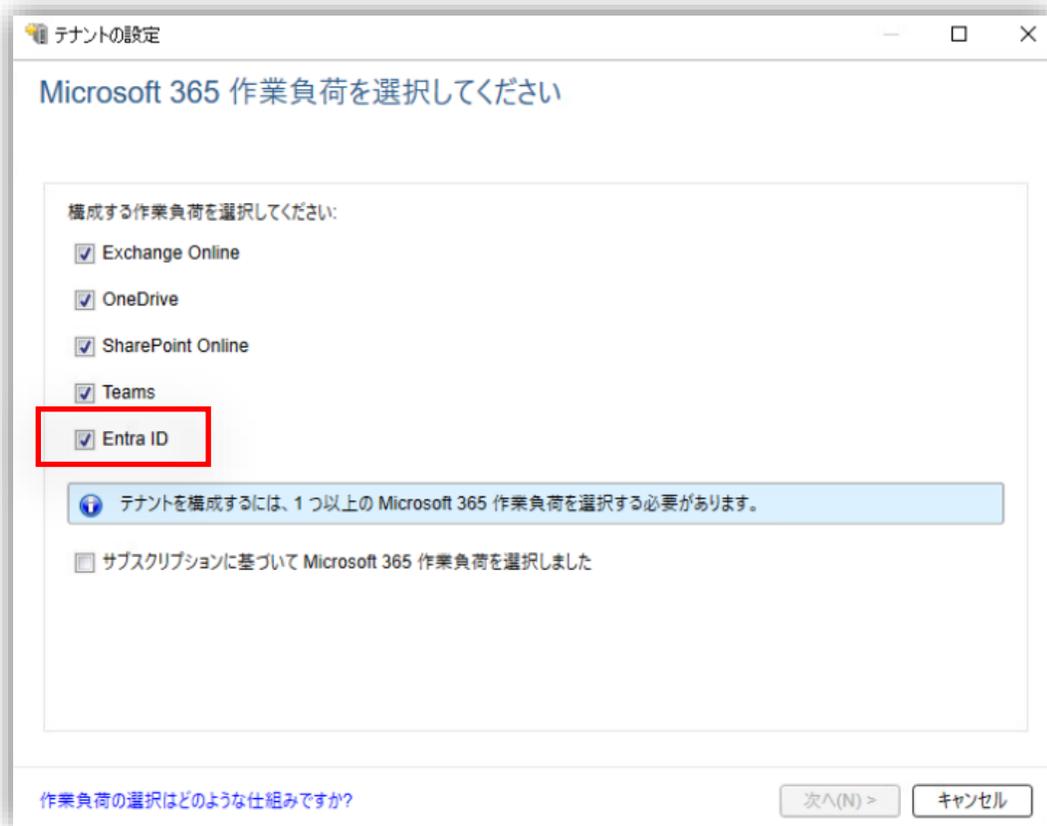
- クリーンなリカバリからユーザ、グループ、アプリをリストア
- データとワークロードと共に、アイデンティティ層 (ID)を復元
- 競合他社と異なり、この保護を追加費用なしで提供

全体像

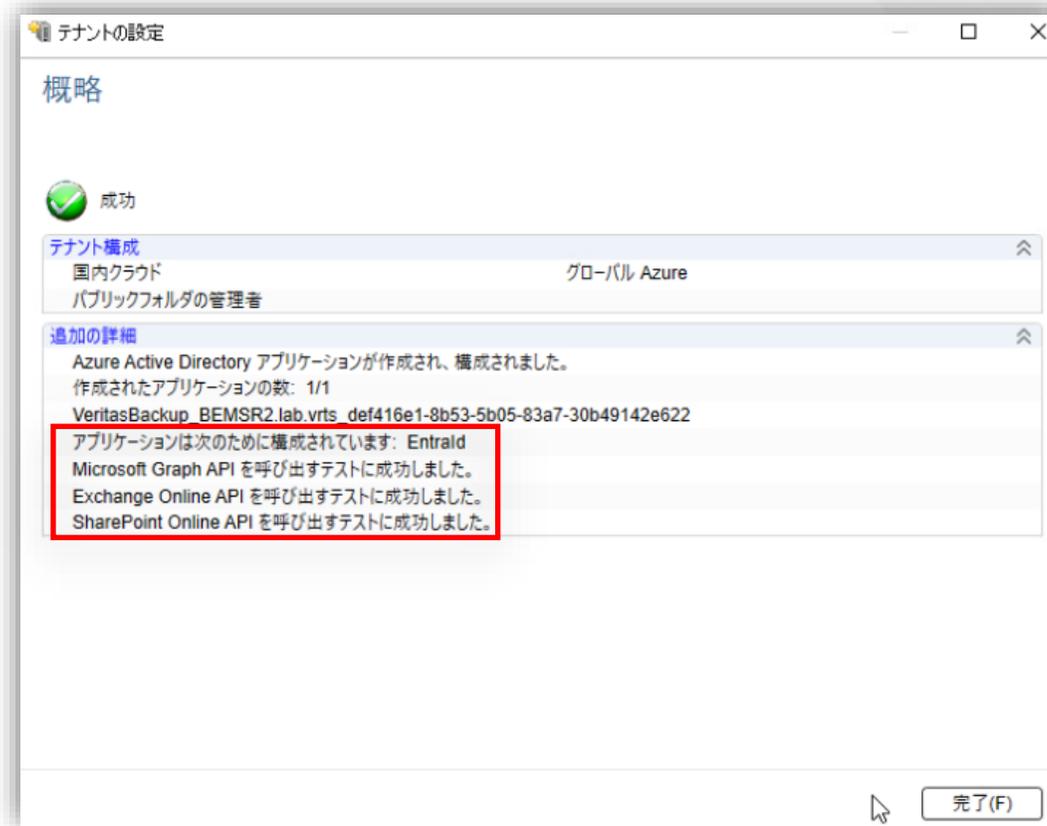
- ID情報をセキュアで強固なストレージにバックアップ
- RBACによるアクセスと復旧の保護
- サーバを超えて、アイデンティティ境界領域まで保護を拡大

Entra IDの保護

- 新たなワークロードとして「Entra ID」を追加

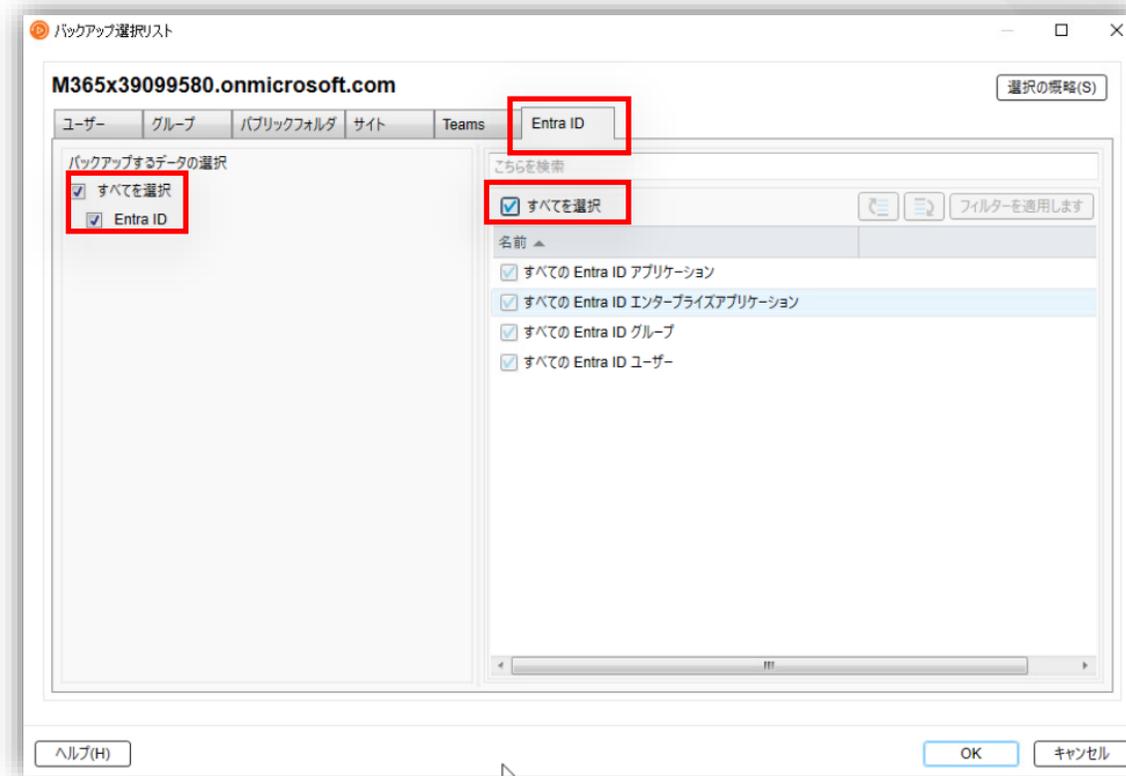
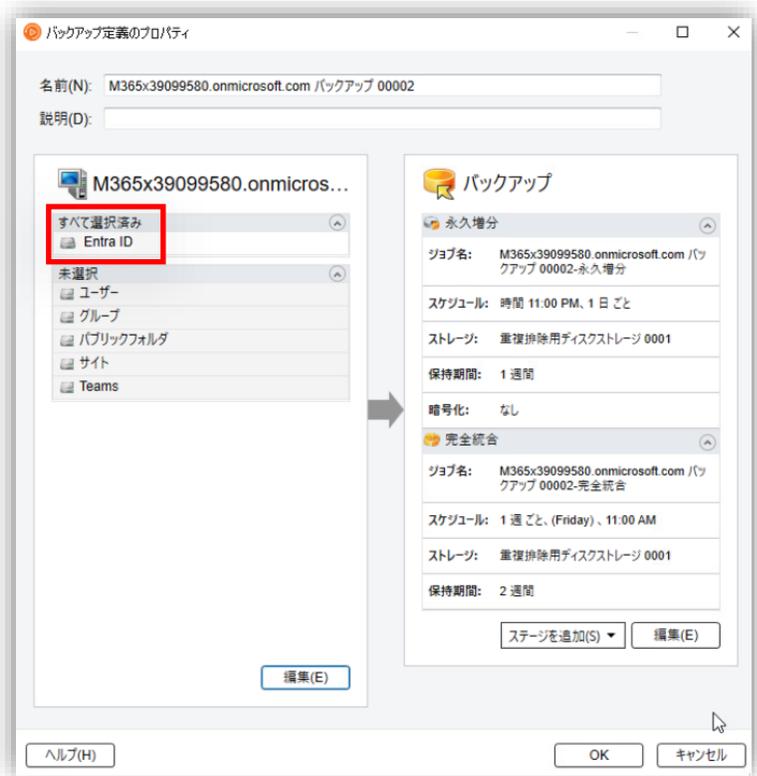


- 「Entra ID」にアクセスするための手続きが完了すると、このように表示される



Entra IDの保護

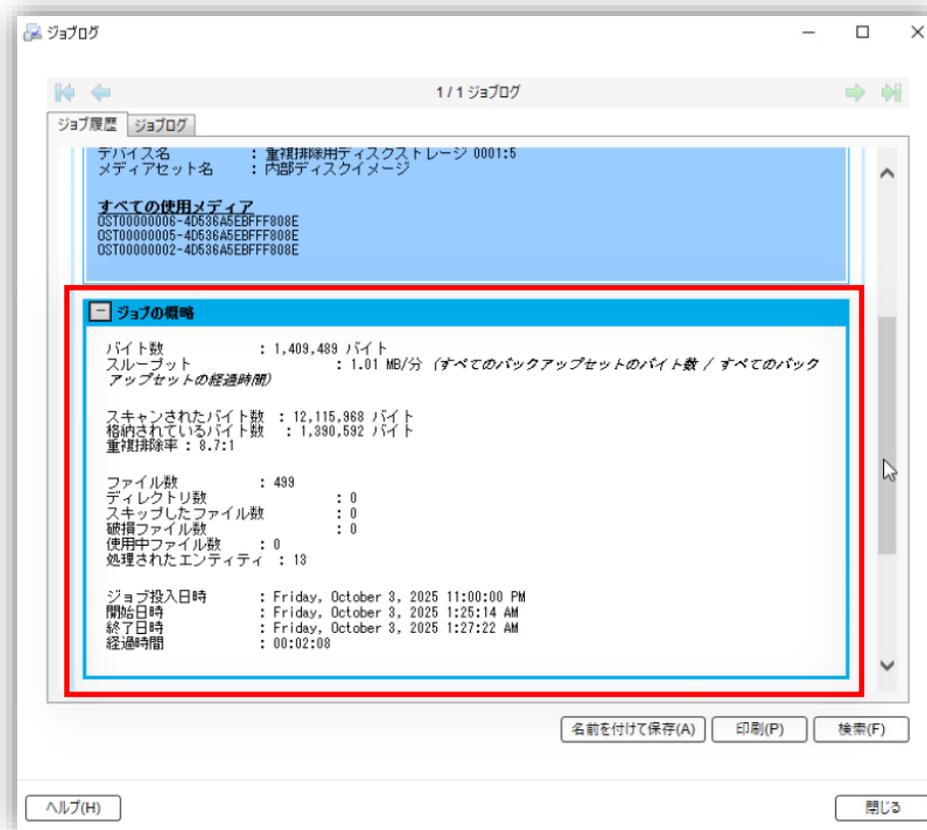
- バックアップ選択リスト



- 「すべてを選択」がチェックされている場合、すべてのEntra IDのエンティティがチェックされる。Entra IDの場合、依存関係が複雑であるため、エンティティの個別の選択はできない

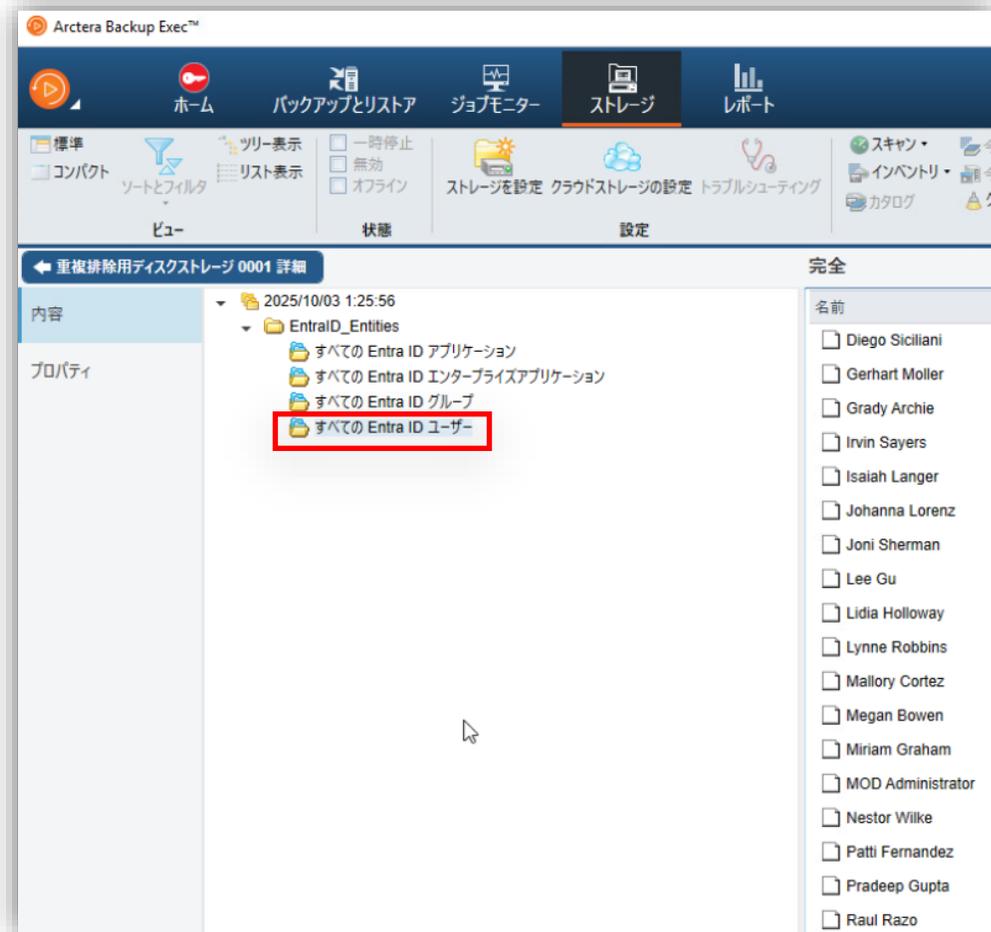
Entra IDの保護

- バックアップの完了

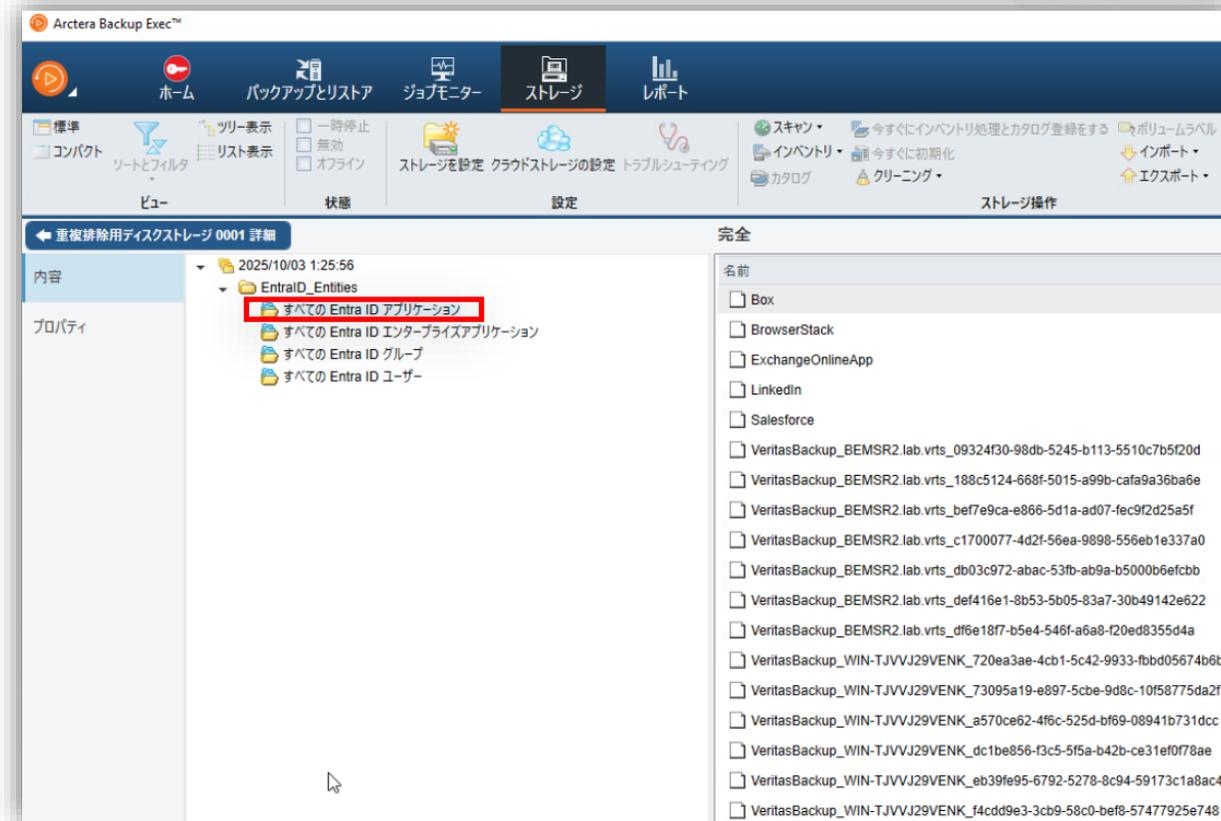


Entra IDの保護

- バックアップセットの内容
ユーザ



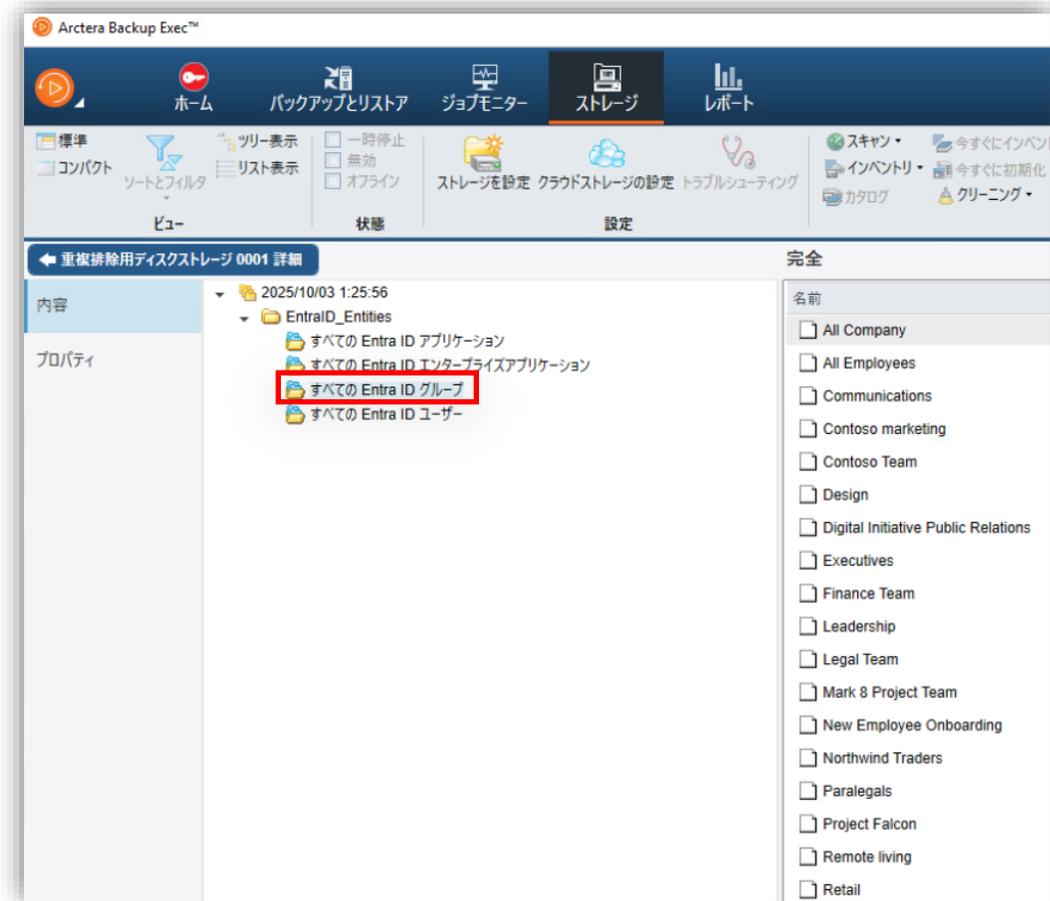
アプリケーション



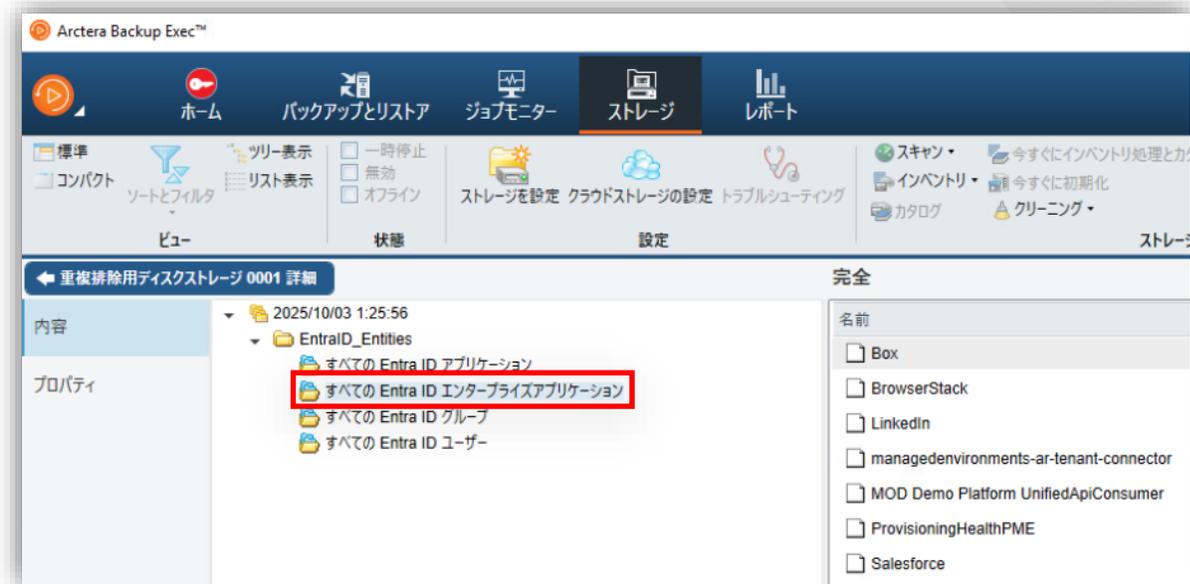
Entra IDの保護

- バックアップセットの内容

グループ

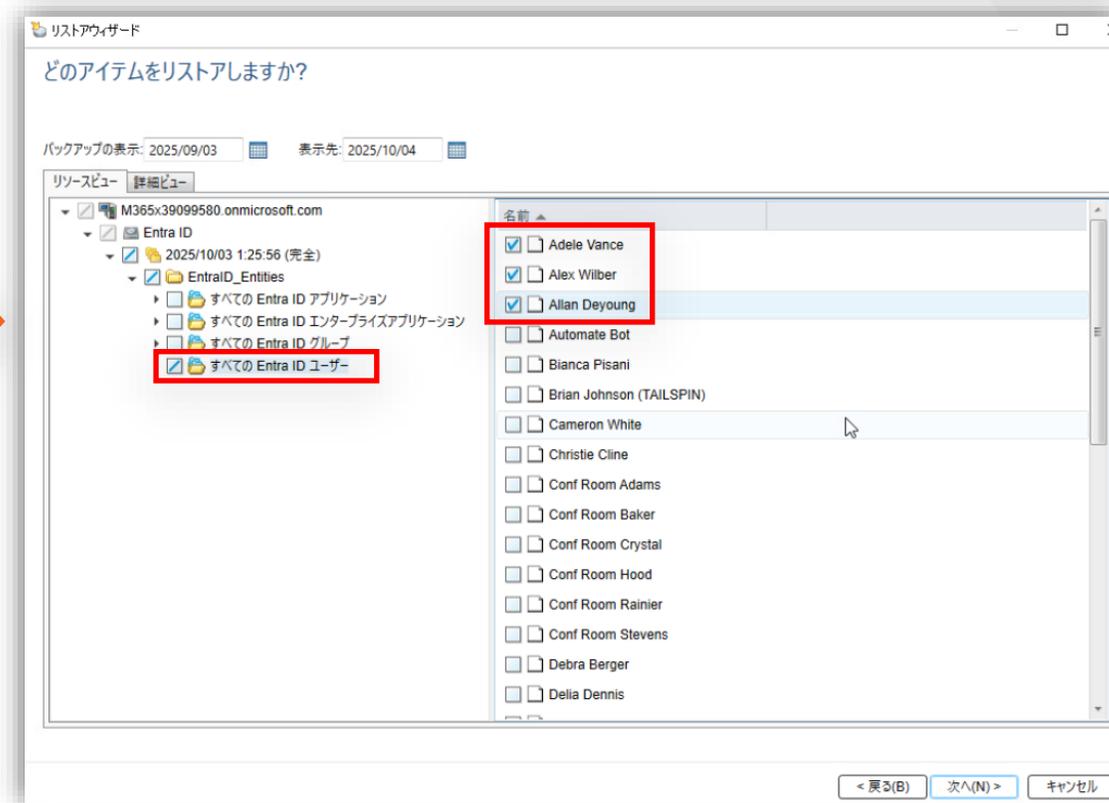
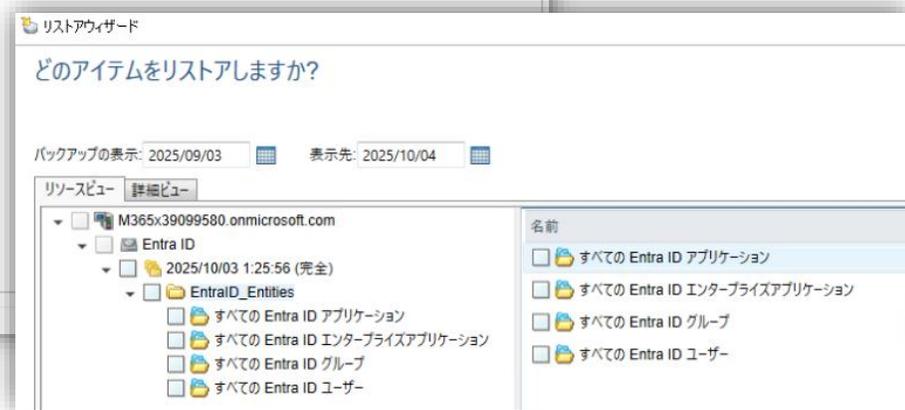
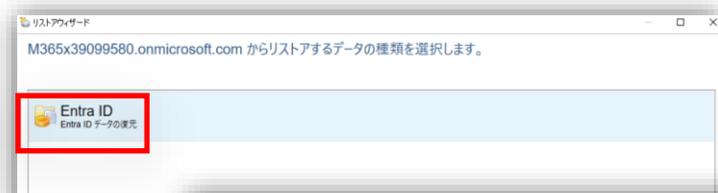


エンタープライズアプリケーション



Entra IDの保護

- リストア



- リストアの場合、個別アイテムの選択が可能

Entra IDの保護

• リストア

デフォルトパスワード

パスワードを認証する

- アイテムが存在する場合、「スキップ」もしくは「上書き」が可能だが、何らかのパスワードを予め設定しなければならない

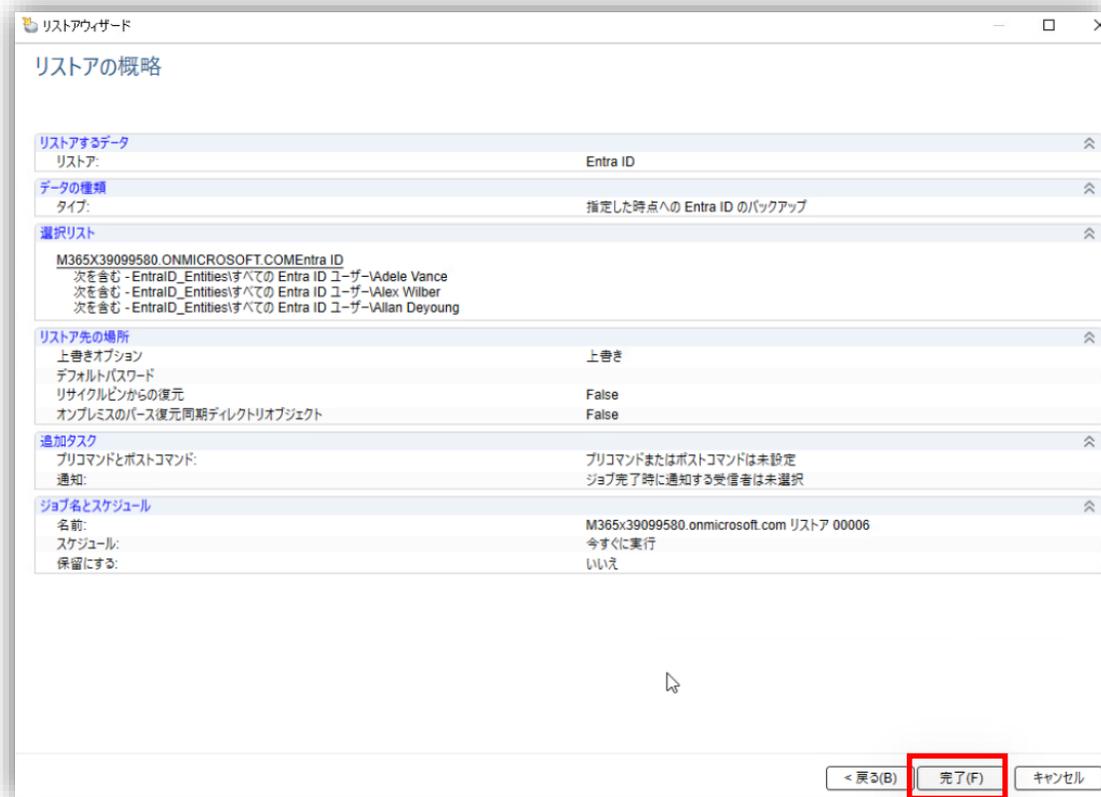
※このパスワードはリストア後のオブジェクトにアクセスするために必要

- BEサービスアカウントのパスワード、全く新しいパスワード等なんでも構わないが、パスワードを設定しないと次へ進むことができない

- 他にもごみ箱からのリストアを優先させる設定や、オンプレミスのActive DirectoryとEntra IDとの同期が取れないときにEntra IDへのリストアを強制的に行う設定が可能

Entra IDの保護

- リストア



- 設定を確認して、問題がなければ「完了」をクリック

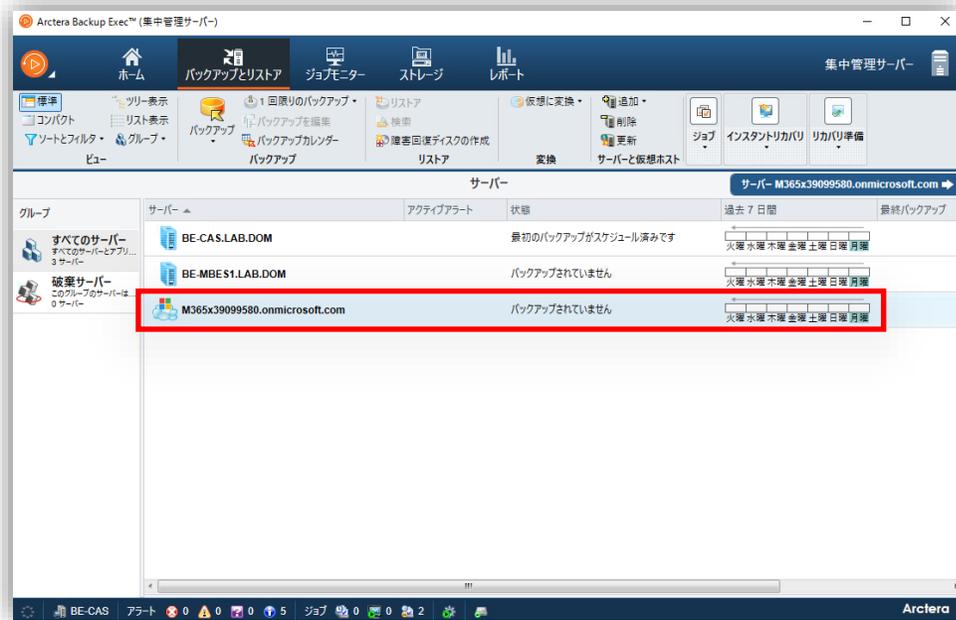
Agenda

- Backup Exec 25.1のリリース概要
- Entra IDの保護
- **M365の保護 : CAS/MBES環境への対応**
- M365のバックアップに関する性能改善
- Backup Exec Recommendation Tool

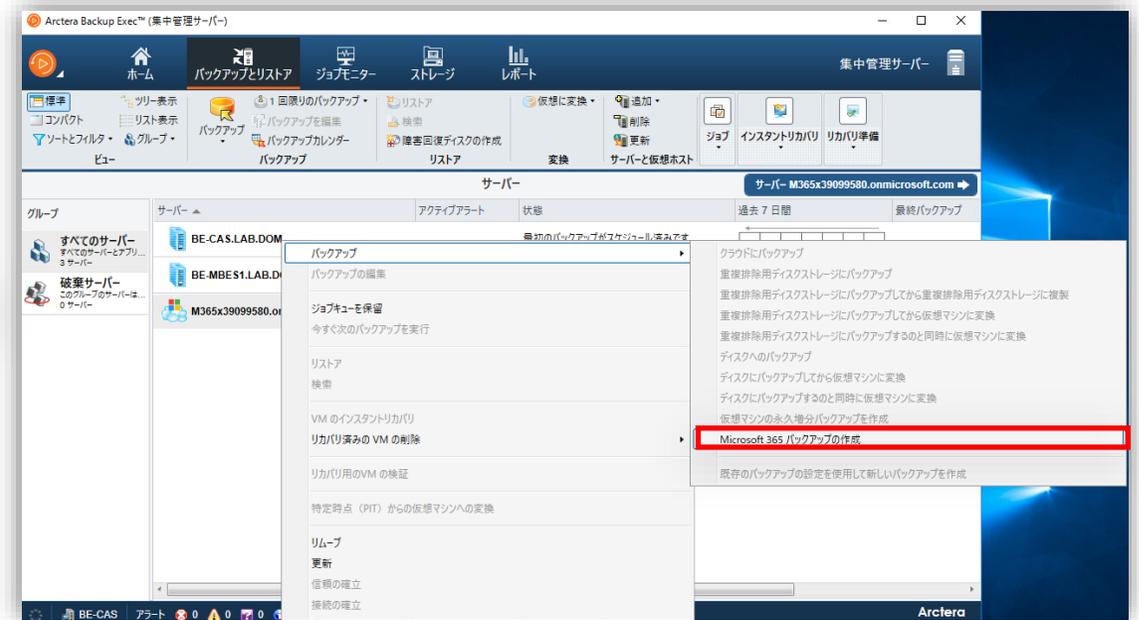
M365の保護: CAS/MBES環境への対応

- スタンドアロン環境のBackup Execサーバでしか実行できなかったM365のバックアップおよびリストアジョブを、CAS/MBES環境にも対応
- CAS上でM365のジョブを作成し、MBESに委ねることで、負荷分散の実現、より効率的なジョブ実行を実現させることができる

①CASからテナントを登録



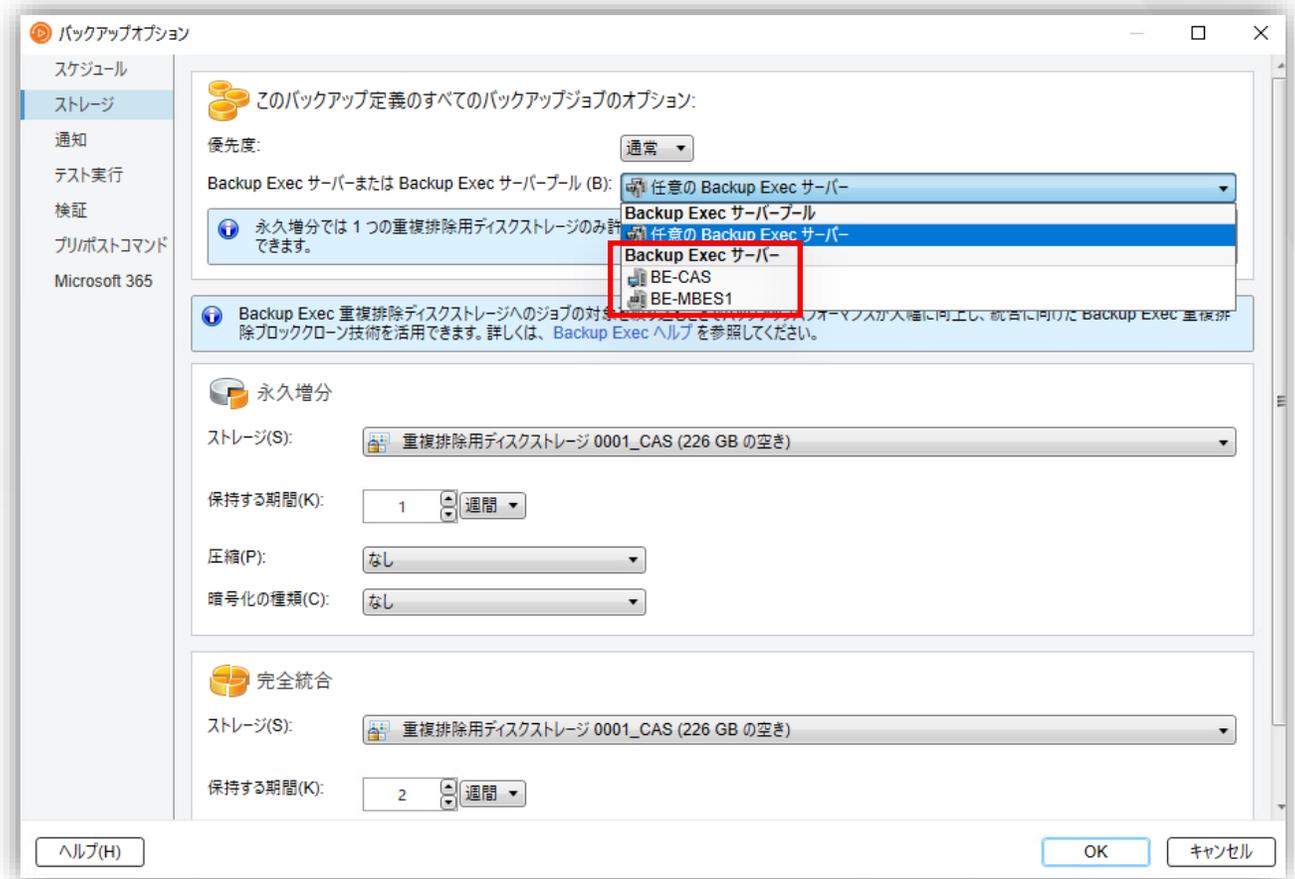
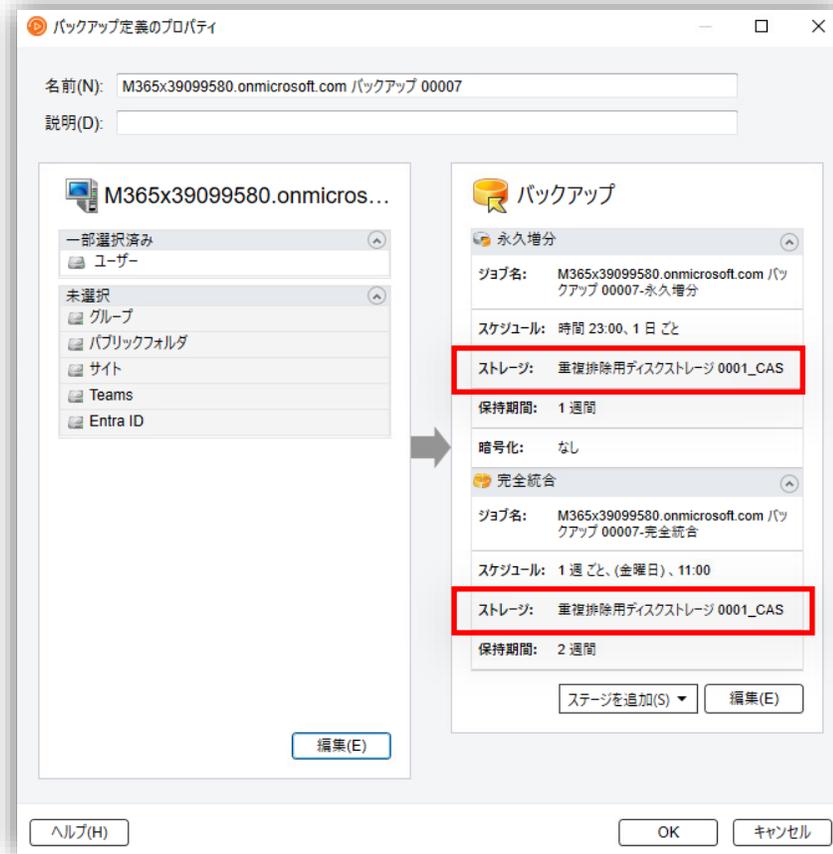
②M365のバックアップジョブを作成



M365の保護: CAS/MBES環境への対応

③CASに重複排除ディスクストレージが接続されている場合、バックアップの保管先はデフォルトでそこへ設定される
(接続されていない場合は、空白となる)

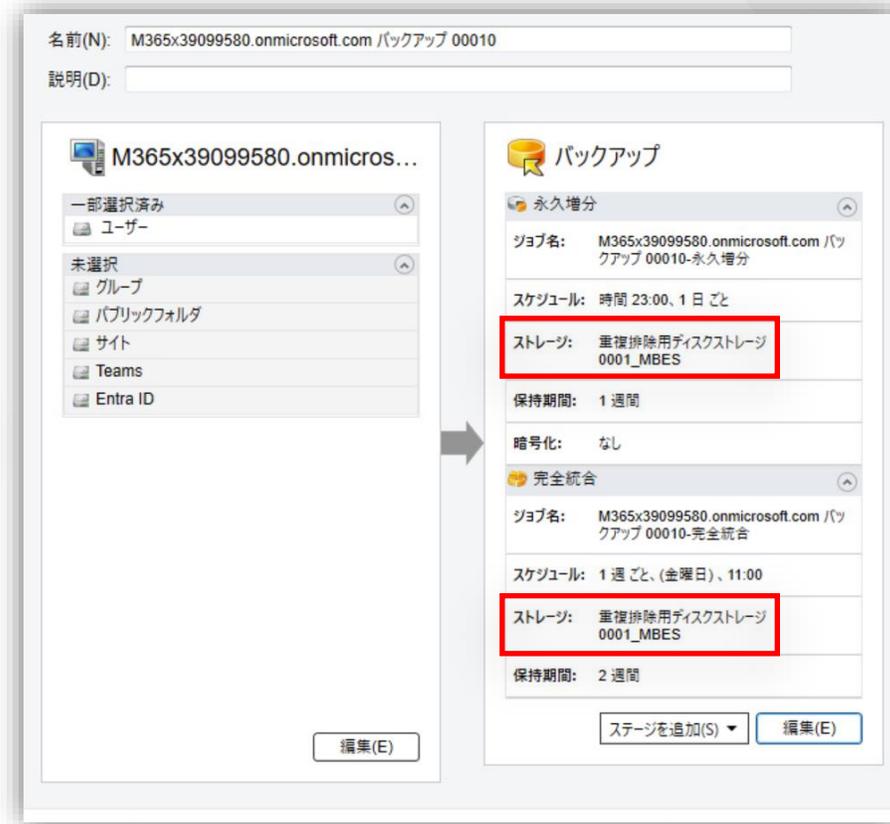
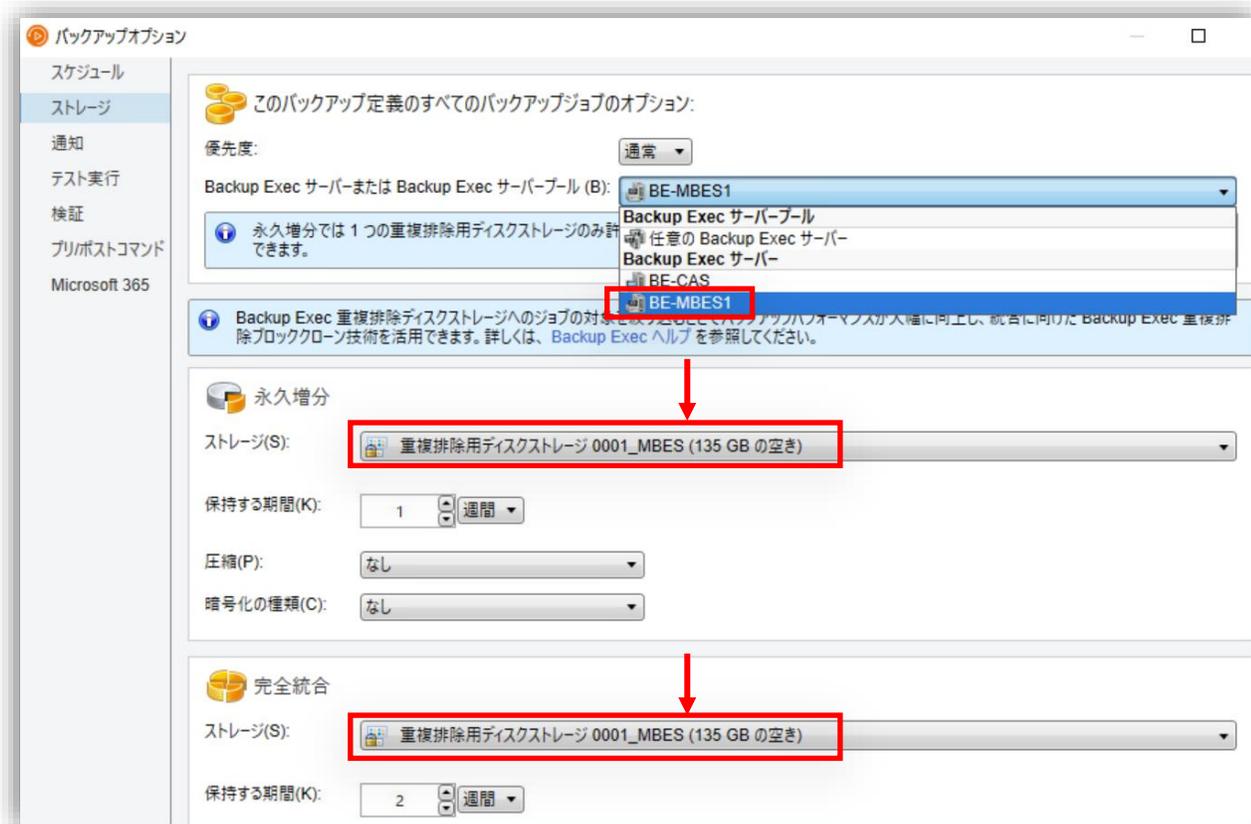
④「バックアップオプション」→「ストレージ」からバックアップジョブを実行させるBEサーバを選択 (CASもしくはMBES)



M365の保護: CAS/MBES環境への対応

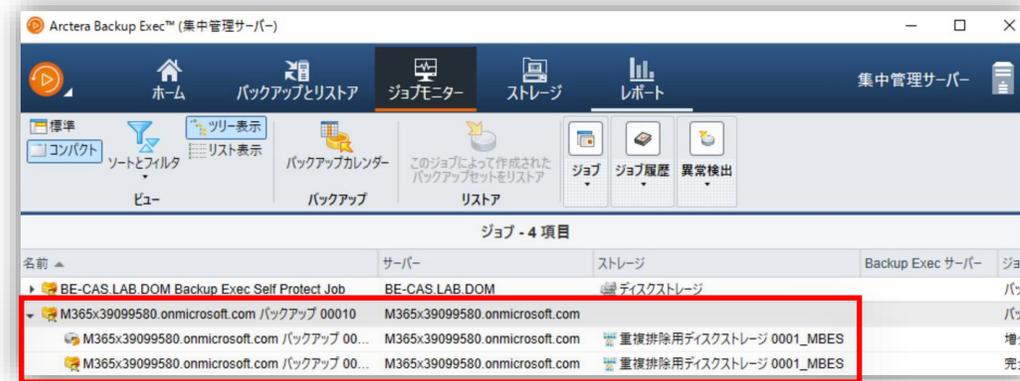
⑤MBESを選択すると、ストレージもMBESの重複排除用ディスクストレージが自動選択される

⑥ここでもMBESの重複排除用ディスクストレージが設定されていることが確認できる

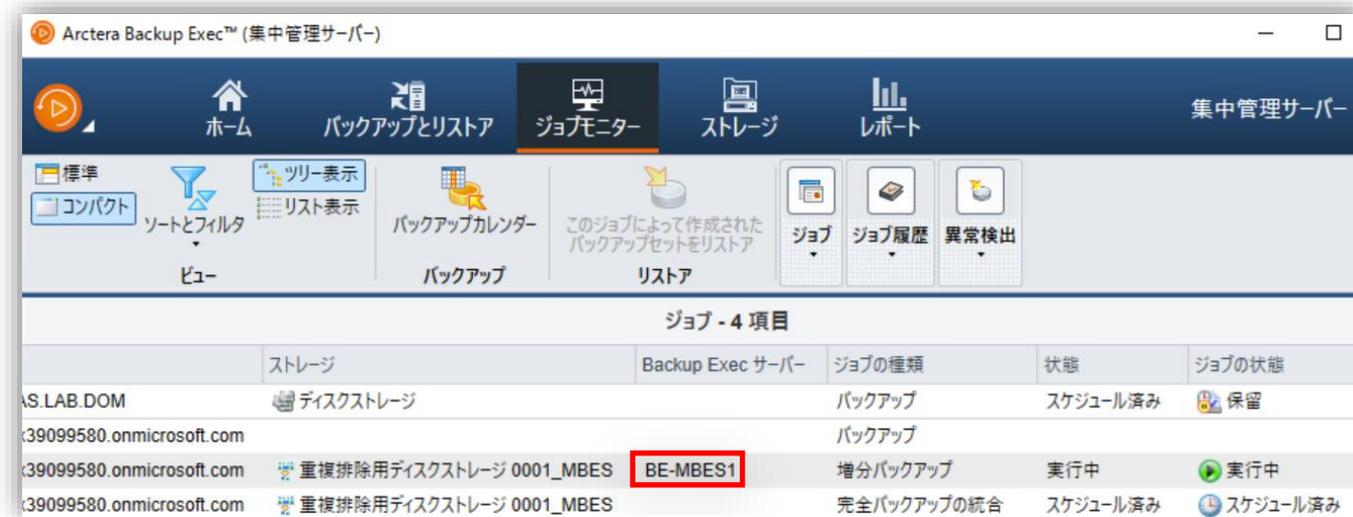


M365の保護: CAS/MBES環境への対応

⑦ジョブが登録される



⑧ジョブを実行すると、ジョブを実行しているBackup Execサーバが確認できる（この場合はMBES）



M365の保護: CAS/MBES環境への対応

⑨ジョブ完了後、ジョブ履歴にジョブを実行したときに使われたBackup Execサーバ（今回の場合、MBES）が確認できる。バックアップの格納先、今回のバックアップジョブを作成したBackup Execサーバ（今回の場合、CAS）も確認できる

ジョブ履歴 - 1 項目						
サーバー	Backup Exec サーバー	ストレージ	ジョブの種類	作成日	ジョブの状態	進捗率
M365x39099580.onmicrosoft.com	BE-MBES1	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES:1	バックアップ	集中管理サーバー	成功	100%

⑩以下は「完全バックアップの統合」のジョブ実行の例。ここでも統合に使われているBackup Execサーバ（今回の場合、MBES）が確認できる

ジョブ - 4 項目					
ストレージ	Backup Exec サーバー	ジョブの種類	状態	ジョブの状態	バイト数
ディスクストレージ		バックアップ	スケジュール済み	保留	
		バックアップ			
重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES		増分バックアップ	スケジュール済み	スケジュール済み	
重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES	BE-MBES1	完全バックアップの統合	実行中	動作中: メディアをロード中-バックアップ	4.52 MB

M365の保護: CAS/MBES環境への対応

⑪ 「完全バックアップの統合」のジョブ履歴も、ジョブを実行したときに使われたBackup Execサーバ（今回の場合、MBES）が確認できる。バックアップの格納先、今回のバックアップジョブを作成したBackup Execサーバ（今回の場合、CAS）も確認できる

	Backup Exec サーバ	ストレージ	作成日	バイト数	バックアップ方式
microsoft.com バックアップ 00010-完全統合	BE-MBES1	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES:5	集中管理サーバ	13.5 MB	完全
microsoft.com バックアップ 00010-永久増分	BE-MBES1	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES:1	集中管理サーバ	13.2 MB	完全
microsoft.com バックアップ 00010-永久増分	BE-MBES1	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES:6	集中管理サーバ	1,023 バイト	増分

M365の保護: CAS/MBES環境への対応

⑫ リストアの場合、バックアップに使用したBackup Execサーバが自動選択される

The screenshot shows the Arctera Backup Exec console interface. The 'ジョブモニター' (Job Monitor) tab is active. The main area displays a table of jobs. The last row, representing a restore job, has a red box around the 'Backup Exec サーバー' (Backup Exec Server) column, which contains the value 'BE-MBES1'.

名前	サーバー	ストレージ	Backup Exec サーバー	ジョブの種類	状態	ジョブの状態
BE-CAS.LAB.DOM Backup Exec Self Protect Job	BE-CAS.LAB.DOM	ディスクストレージ		バックアップ	スケジュール済み	保留
M365x39099580.onmicrosoft.com バックアップ 00010	M365x39099580.onmicrosoft.com			バックアップ		
M365x39099580.onmicrosoft.com バックアップ 00...	M365x39099580.onmicrosoft.com	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES		増分バックアップ	スケジュール済み	スケジュール済み
M365x39099580.onmicrosoft.com バックアップ 00...	M365x39099580.onmicrosoft.com	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES		完全バックアップの統合	スケジュール済み	スケジュール済み
M365x39099580.onmicrosoft.com リストア 00003	M365x39099580.onmicrosoft.com		BE-MBES1	リストア	実行中	動作中: 実行しています-リストア

⑬ リストアに使用したBackup Execサーバもジョブ履歴から確認できる

The screenshot shows the 'ジョブ履歴' (Job History) section of the Arctera Backup Exec console. A table lists job history items. The first row, representing a restore job, has a red box around the 'Backup Exec サーバー' (Backup Exec Server) column, which contains the value 'BE-MBES1'.

名前	Backup Exec サーバー	ストレージ	作成日	バイト数	バックアップ方式
M365x39099580.onmicrosoft.com リストア 00003	BE-MBES1	重複排除用ディスクストレージ 0001_MBES:2	集中管理サーバー	13.2 MB	

Agenda

- Backup Exec 25.1のリリース概要
- Entra IDの保護
- M365の保護：CAS/MBES環境への対応
- **M365のバックアップに関する性能改善**
- Backup Exec Recommendation Tool

M365のバックアップに関する性能改善

- カタログ用に使用しているSQLiteのデータベースが、一定の値に達したとき自動的に分割する機能を追加
- 分割することで、カタログ用データベースのサイズを抑え、テナントのデータ量が増えても、クエリ時間とジョブの転送レートを安定させることができる
- 特に大規模テナント構成において、統合処理のパフォーマンス改善とメモリ消費量が抑えられる
- この機能のための変更はすべて内部的なものであり、ユーザインタフェースの変更はない



- データ量が増えれば増えるほど、処理がネック
- 並列処理により、ボトルネックが起こりにくく、データ量が増えても安定した性能を発揮

本機能により、バックアップ性能を20%ほど改善*

*社内検証結果にもとづく

Agenda

- Backup Exec 25.1のリリース概要
- Entra IDの保護
- M365の保護：CAS/MBES環境への対応
- M365のバックアップに関する性能改善
- **Backup Exec Recommendation Tool**

Backup Exec Recommendation Tool

- ワークロードの現状を把握し、パフォーマンス・ストレージのサイジングに役立たせるためのツール
- 現在のバージョンはM365に重点を置いているが、将来的には他のワークロードにも対応予定
- Backup Execのソフトウェアは不要で、単独で使える無償のツール（Windowsマシンが必要）
- テナントにアクセス、現状のユーザ数やデータ量をグラフィカルに把握し、パフォーマンスやストレージのサイジングに役立たせる
- 対象ワークロード
 - Exchange Online
 - SharePoint Online
 - One Drive
 - Microsoft Teams
- 提供される情報
 - ワークロード全体の総データ量
 - ワークロード毎のアイテム数
 - 過去6か月間のデータにもとづいたデータ量増加のトレンド
 - エンティティレベル（例: メールボックス、サイト等）のデータの分布



Backup Exec Recommendation Tool

- ツールの入手先

- <https://arctera.sharepoint.com/:u:/s/EXT-ProductTrialwareDownloads/ESjGyQzemvBGjR3EixBIFLUBWR2q8zZX1TN9fpolTxOvgQ?e=yfF9aV>
=> **Recommendation_Tool.zip**をダウンロード

- 導入手順書

- https://arctera.sharepoint.com/:b:/s/EXT-ProductTrialwareDownloads/EZjt1kxi7TFBqGTvM2JMuJcB6WWmN7GSOO2kN_cXBSD6Hw?e=Q69dvl
=> **BackupExec-Recommendation-Tool-Howtguide.doc**

- 前提条件

- Microsoft 365 のグローバル管理者資格情報
- 画面解像度: 1920×1200 (100% スケーリング)
- Microsoft Graph API 経由での認証およびデータ収集のためのインターネット接続

- 注意事項

- Microsoft Graph APIによる安全な認証
- 認証情報は保存しない
- Azure ADアプリケーションは一時的なもので、ツール終了時に削除される
- ツールとAPIの利用は無料

ありがとうございました。